

[第8回目] 運動方程式を解く 2 A：自由落下

《今日の授業の目標》 運動方程式を解くとはどういうことか

◎ 一定の力が作用するときの運動方程式と

その一直線上を運動するときの解 [等加速度直線運動, 2次関数]

例：重力のみ → 自由落下

$$F_y(t) = -mg \Rightarrow \text{運動方程式を立てる: } ma_y(t) = -mg \Rightarrow a_y(t) = -g$$

$$\frac{dv_y(t)}{dt} = -g \rightarrow v_y(t) = \left[\int (-g) dt = \right] -gt + C_1,$$

$$\frac{dy(t)}{dt} = -gt + C_1 \rightarrow y(t) = \left(\int (-gt + C_1) dt = \right) -\frac{1}{2}gt^2 + C_1 t + C_2,$$

$$\text{一般解: } v_y(t) = -gt + C_1, \quad y(t) = -\frac{1}{2}gt^2 + C_1t + C_2 \quad \text{※ } y \text{ 軸は鉛直上向き}$$

初期条件として、 $t=0$ の位置が y_0 、速度が v_0 のとき

$$\text{特解: } v_y(t) = -gt + v_0, \quad y(t) = -\frac{1}{2}gt^2 + v_0t + y_0$$

※合力が一定 F_0 の場合はこの問題
と同じ。 $a_y(t) = \frac{F_0}{m}$

学習到達目標 (4) 自由落下の運動方程式を解くことができる。

次回予定 「第9回目」 運動方程式を解く 2 B : 等加速度運動 (教科書 45~46 ページまで)

レポート問題 第8回目（右側の半分の解答用紙を切り取って提出しなさい）

数値で計算する問題は、答えにも必ず単位をつける！MKS 単位系で答えること！

B… 問1教科書43ページの演習問題Aについて以下の問い合わせに答えよ。

- ① 設問(a)～(c)を答えよ。ただし、
(b) は一般解まで求め、任意定数 C_1 は残しておく、(Step2)
(c) は一般解まで求め、任意定数 C_1, C_2 は残しておく。(Step3)

② 設問(b)と(c)で求めた一般解と初期条件を用いて、任意定数 C_1, C_2 を決定せよ。また、特解 $y(t)$ と $v_y(t)$ を求めよ。(Step4)

③ 設問(d)～(f)を答えよ。

④ 問い②で求めた特解 $y(t)$ から $v_y(t)$ を求めよ (微分する)。

さらに求めた $v_y(t)$ から $a_y(t)$ を求めよ (微分する)。

求めた $a_y(t)$ より、 $y(t)$ が運動方程式の解になっていることを確認せよ。

求めた $a_y(t)$ の式を初めに立てた運動方程式に代入し、両辺が等しくなり、等号が成り立つことが確認できれば、 $y(t)$ は運動方程式の解である。

- ⑤ 加速度 a_y 、速度 v_y の時間変化の様子をグラフで表せ。

- ⑥ 物体の位置 $y(t)$ の時間変化をグラフで表せ。

=====
=====

中間テスト直し 12月3日(月) 13:00まで

提出方法は、小テスト直しと同じ。宿題の解答用紙の裏に書ききれない場合にかぎ

別紙(レポート用紙など)で提出してもよい(学籍番号と氏名は書くこと)。

数値で計算する問題は、答えにも必ず単位をつける！指示がない限り MKS 単位系で答えること！

問 1 ① 図に描け

$$(a) F_y(t) =$$



運動方程式 :

$$a_y(t) =$$

(b) Step 2 のみを行う。

(c) Step 3 のみを行う。

②

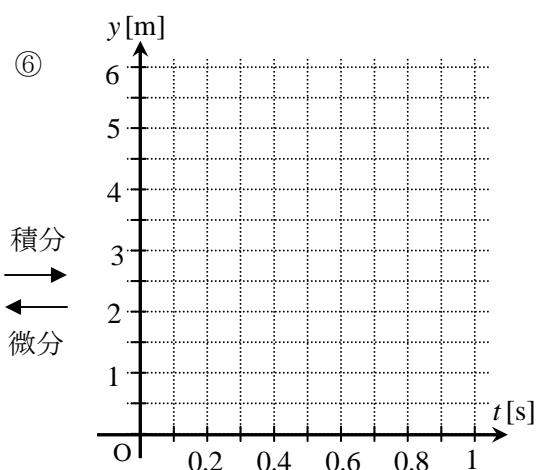
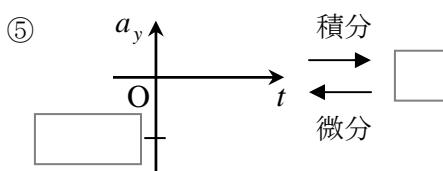
$$\text{特解: } y(t) = , \quad v_y(t) =$$

③ (d)

(e)

(f)

④



☆このレポートをやるのに _____ 時間 _____ 分,

それ以外に力学 I の予習復習を _____ 時間 _____ 分した。